

**Family list**2 family member for: **JP7209659**

Derived from 1 application

**1 LIQUID CRYSTAL DISPLAY PANEL****Inventor:** KOIKE TAKAFUMI**Applicant:** SONY CORP**EC:****IPC:** G02F1/1341; G02F1/1345; G02F1/13 (+1)**Publication info:** JP3383055B2 B2 - 2003-03-04**JP7209659 A** - 1995-08-11

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

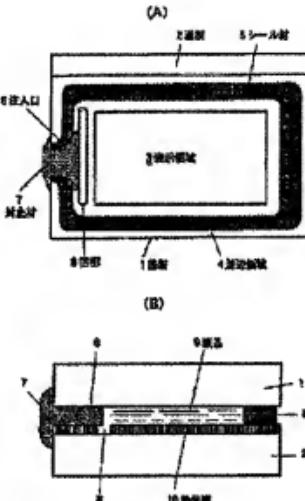
## LIQUID CRYSTAL DISPLAY PANEL

Patent number: JP7209659  
Publication date: 1995-08-11  
Inventor: KOIKE TAKAFUMI  
Applicant: SONY CORP  
Classification:  
- International: G02F1/1341; G02F1/1345; G02F1/13; (IPC1-7): G02F1/1341  
- European:  
Application number: JP19940023157 19940124  
Priority number(s): JP19940023157 19940124

[Report a data error here](#)

### Abstract of JP7209659

PURPOSE: To prevent a sealant of a liquid crystal display panel from infiltrating into the inside. CONSTITUTION: A couple of upper and lower substrates 1 and 2 are arranged opposite each other across a specific gap to constitute a panel. This panel is sectioned into a center display area 3 and a peripheral area 4 which surrounds it. A seal material 5 is arranged along the peripheral area 4 and both the substrates 1 and 2 are adhered to each other to form an internal space containing the display the display area 3. This seal material 5 is partially removed to form an injection hole 6. Liquid crystal is injected into the internal space through the injection hole 6 to fill the display area 3. A sealant 7 is charged in the injection hole 6. A grooved recessed part 8 is formed in at least one substrate 2 across between the injection hole 6 and display area 3 to prevent the sealant 7 from infiltrating into the inside.



Data supplied from the [esp@cenet](mailto:esp@cenet) database - Worldwide

(10) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-209659

(43) 公開日 平成7年(1995)8月11日

(51) Int.Cl. \*

識別記号

G02F 1/1341

F1

審査請求 未請求 求査項の数 3 FD (全5頁)

(11) 出願番号 特願平6-23157

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(22) 出願日 平成6年(1994)1月24日

(72) 発明者 小池 啓文

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

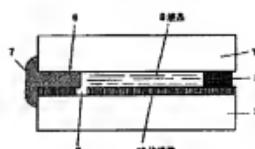
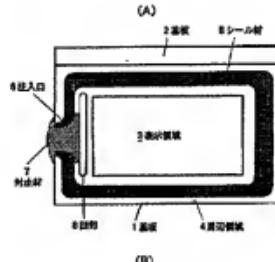
(74) 代理人 弁理士 鈴木 喬敏

(54) 【発明の名称】 液晶表示パネル

(57) 【要約】

【目的】 液晶表示パネルの封止材内部侵入を防止する。

【構成】 上下二枚の基板1、2は所定の間隔を介して対向配置されパネルを構成する。このパネルは中央の表示領域3及びこれを囲む周辺領域4に区分される。周辺領域4に沿ってシール材5が配設され、両基板1、2を互いに接着して表示領域3を包含する内部空間を形成する。シール材5は予め部分的に除去されており注入口6が設けられる。この注入口6を介して内部空間に液墨9が導入され表示領域3を満たす。封止材7が注入口6に充填されている。注入口6と表示領域3の間を横切る様に少なくとも一方の基板2に雫形状の凹部8が設けられており、封止材7の内部侵入を阻止している。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 所定の間隙を介して対向配置され且つ表示領域及びこれを覆む周辺領域を有する一对の基板と、該周辺領域に沿って配設され両基板を互いに接着して該表示領域を包含する内部空間を形成するシール材と、予め該シール材を部分的に除去して設けた注入口を介して該内部空間に導入された液品と、該注入口に充填された封止材とを含む液品表示パネルにおいて、

該注入口と表示領域の間を横切る様に少なくとも一方の基板に該封止材の侵入を阻止する凹部を設けた事を特徴とする液品表示パネル。

【請求項 2】 前記凹部は、基板を被覆する絶縁膜に形成された溝からなる事を特徴とする請求項 1 記載の液品表示パネル。

【請求項 3】 前記凹部は、基板に直接形成された溝からなる事を特徴とする請求項 1 記載の液品表示パネル。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【産業上の利用分野】 本発明は液品表示パネルに関する。より詳しくは、互いに貼り合わされた一对の基板の間隙に注入された液品の封止構造に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】 図 5 を参照して従来の液品表示パネルの一般的な構成を簡単に説明する。図示する様に、上側のガラス基板 101 と下側のガラス基板 102 は所定の間隙を介して対向配置されパネルを構成する。このパネルは中央の表示領域 103 とこれを囲む両辺領域 104 に区分されている。両辺領域 104 に沿ってシール材 105 が配置されており、上下の両基板 101、102 を互いに接着して表示領域 103 を包含する内部空間を形成する。シール材 105 は予め部分的に除去されており注入口 106 が設けられる。この注入口 106 を介して内部空間に液品が導入され表示領域 103 を満す。この液品注入は、例えば内部空間を真空引きした後注入 106 に液品を導かせ、周囲を大気圧に貯まることにより実施する。液品注入の後エボキシ樹脂やアクリル樹脂等からなる封止材 107 を注入口 106 に充填する。

【0 0 0 3】

【発明が解決しようとする課題】 封止材 107 の先端は毛細管現象を利用する。これに加え、パネルの内部空間と外部との間に圧力差あるいは密度差を与える方法を配置する。時間の経過とともに封止材 107 が注入口 106 の内部に進入し、充填された長時間で硬化処理を行ない固定する。しかしながら、封止材 107 の進入速度は個々のパネルによってばらつきがあり、場合によっては図 5 に示す様に表示領域 103 内に漏入する事がある。表示領域 103 に漏入された液品が部分的に封止材 107 で遮断される正常な直角表示を行なえず表示欠陥が発生するという課題がある。

【0 0 0 4】 封止材のはみ出し防止対策として、例えば

図 6 に示す様に注入口 106 と表示領域 103 との間に土手 108 を設ける構造が提案されている。土手 108 は例えばシール材 105 の印刷像など同時に形成され、上下の基板 101、102 の間隙に沿って介在する。土手 108 は封止材 107 の少量化のみ出しに対しては効果があるが、ある程度の量以上になると図示する様に表示領域 103 に侵入してしまう。又、対角寸法が 1 インチ以下の小型高精細液品表示パネルでは、土手 108 を設けるスペースを確保できない場合がある。あるいは土手 108 を介在させる事により基板寸法が拡大しコスト上不利になる。

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】 上述した従来の技術に鑑み、本発明は液品表示パネルの表示領域に対する封止材のはみ出しを効率的に抑制する事を目的とする。かかる目的を達成する為に以下の手段を講じた。即ち本発明にかかる液品表示パネルは基本的な構成として、一对の基板と、シール材と、液品と、封止材とを有している。一对の基板は所定の間隙を介して対向配置されパネルを構成する。このパネルは中央の表示領域及びこれを囲む両辺領域を有する。シール材は両辺領域に沿って配設され両基板を互いに接着して、表示領域を包含する内部空間を形成する。予めシール材を部分的に除去して注入口が設けられる。液品はこの注入口を介して内部空間に導入され表示領域を満す。封止材は注入口に充填され液品表示パネルの封閉構造を完成する。本発明の特徴事項として、注入口と表示領域の間を横切る様に少なくとも一方の基板に封止材の侵入を阻止する凹部を設けている。例えば、基板を被覆する絶縁膜に溝をバタニング形成する事により前記凹部を設ける事ができる。あるいは、基板にエッチングもしくはハーフダイシングで溝を直接形成する事により前記凹部を設けても良い。

【0 0 0 6】

【作用】 本発明によれば、注入口と表示領域の間を横切る様に少なくとも一方の基板に凹部が設けられている。従って、注入口における基板間隙寸法は凹部の基板間隙寸法に比べ相対的に無視化されている。この為、注入口に充填された液品のシール材は表面張力の作用を受け溝形状を有する凹部より前方に進む事ができない。充填されたシール材は凹部まで到達した時、毛細管現象により溝形状を有する凹部のエッジに沿って充填方向と直交する様に導かれる。換言すると、シール材は表面張力により凹部より先に進む事ができず、表示領域に到達する事がない。これにより、従来問題となっていた封止材の侵入による表示欠陥を効果的に防止する事が可能となる。

【0 0 0 7】

【実施例】 以下図面を参照して本発明の好適な実施例を詳細に説明する。図 1 は本発明にかかる液品表示パネルの構造を表わしており、(A) は平面図であり、(B) は断面図である。(A) に示す様に、上側のガラス基板

3

1と下側のガラス基板2は所定の間隔を介して対向配置され液晶表示パネルを構成する。このパネルは中央の表示領域3とこれを囲む周辺領域4に区分されている。周辺領域4に沿ってシール材5が配設されており、上下基板1、2を互いに接着して、表示領域3を包含する内部空間を形成する。シール材5は予め部分的に除去されており、注入口6が設けられる。この注入口6を介して液晶が内部空間に導入され表示領域3を満たす。さらに封止材7が注入口6に充填されており、液晶表示パネルの初期状態を完全なものとする。本発明の特徴事項として、注入口6と表示領域3の間を横切る様に少なくとも一方の基板（例えば下側のガラス基板2）に封止材7の侵入を阻止する凹部8が設けられている。凹部8は溝形状を有する。

【0008】引き続き図1の(A)を参照し、本発明にかかる液晶表示パネルの製造方法を詳細に説明する。まず最初に、下側のガラス基板2の表面に表示領域3を形成する。この時同時に凹部8も形成する。次に、表示領域3及び凹部8を覆む周辺領域4に沿ってシール材5をスクリーン印刷等により施す。シール材5は紫外線硬化型の接着剤もしくは熱硬化型の接着剤からなる。次に上側のガラス基板1を重ね合わせシール材5を硬化させて上下基板1、2を互いに接着する。なお、シール材5をスクリーン印刷する際注入口6が形成される様に、表示領域3を包含する内部空間を真空排気し注入口6に液晶を挿入した状態で、パネル外部を大気圧に戻す。これにより、液晶は内部空間に真空注入され表示領域3を満たす。最後に注入口6に被状の封止材7を充填し密閉する。被状の封止材7は毛細管現象により注入口6に進入していく。この隙先端を確実なものとする為、液晶表示パネルの内部空間と外部との間に圧力差もしくは湿度差を設けてはならない。封止材7としては例えば紫外線硬化型のアクリル樹脂を用いる事ができる。注入口6に充填された液状の封止材7は表面張力を受ける為凹部8を超える事ができず、常に平行に前方へ導かれる。これにより表示領域3に対する封止材7のはみ出しを防止している。最後に、紫外線を照射し封止材7を硬化して封止工程を完了する。次に注入口6に充填された封止材7は未硬化の状態で長時間放置しても凹部8を超えて表示領域3に侵入する懐がない。従って、從来の様に充填時間の管理を行なう必要がなく、多数箇所を一括して硬化処理でき工程合理化につながる。

【0009】図1の(B)は、(A)に示した液晶表示パネルの断面構造を模式的に表わしている。上下のガラス基板1、2はシール材5により互いに接合されている。両基板1、2の間隙には前述した様に液晶9が満たされており、封止材7により密封されている。前述した凹部8は下側のガラス基板2を被覆する絶縁膜10に形成された溝からなる。この絶縁膜10は紫外線硬化型の

アクリル樹脂からなり約1μmの厚みで形成されている。この絶縁膜10を直接露光現像処理し溝形状の凹部8をバターニング形成している。なお絶縁膜10としては上述した樹脂材料に限られるものではなく、バターニング可能な種々の有機材料もしくは無機材料を用いる事が可能である。無機材料としては、例えばガラス膜や二氧化シリコン膜を用いる事が可能である。凹部8はフォトリソグラフィ及びエッチングにより精密且つ効率的にバターニング可能である。従って、図6に示した土手10と異なり特に余分のスペースを要する事がない、小型高精細のアクティブマトリクス液晶表示パネルにも容易に設ける事ができる。又、基板寸法の拡大を要する事もない。液晶表示パネルの基板間隙寸法は例えば5μm程度に設定されている。これに対し絶縁膜10の厚みは例えば1μm程度であり、凹部8の深さは絶縁膜10の厚みに相当する。注入口6と凹部8との間で基板間隙寸法に相当程度の差が生じるが、封止材7は表面張力の作用を強く發揮し、凹部8を超えて内部に流れ込む事がない。

【0010】図2は本発明にかかる液晶表示パネルの他の実施例を示す模式的な断面図である。基本的な構成は図1の(B)に示した先の実施例と同一であり、対応する部分には対応する参照番号を付して理解を容易にしている。異なる点は、下側のガラス基板2の表面に溝が直形形成されており、前述した凹部8を構成している事である。この溝は例えばガラス基板2を直接沸酸等によりエッチング加工して得られる。あるいは、ガラス基板2の表面をハーフダイシング等で研削加工しても良い。

【0011】図3は、図1に示した液晶表示パネルの具体的な構成例を示す模式的な部分断面図である。なおこの具体的例は説明の為に挙げたものであり、本発明がこれに限られるものではない事は勿論である。理屈を容易にする為、中央の表示領域と、注入口が設けられた周辺領域の部分とを区別して示している。表示領域において、石英ガラス等からなる下側の絶縁基板21の表面に耐衝撃層22がマトリクス状に集積形成されている。

又、個々の画素電極22をスイッチング駆動する薄膜トランジスタ23も対応して集積形成されている。画素電極22が属する上側層と、薄膜トランジスタ23が属する下側層との間に、中间の平坦化層24が介在している。この平坦化層24は例えば紫外線硬化型のアクリル樹脂からなり、露光現像処理によりコンタクトホールを開口できる。このコンタクトホールを介して上側の画素電極22と下側の薄膜トランジスタ23が互いに導通している。下側の絶縁基板21に対して所定の間隔を介して対向基板25が接合している。対向基板25の内表面には対向電極26が形成されている。両基板21、25の間に液層27が保持されアクティブマトリクス型の表示領域が構成される。

【0012】一方周辺領域においては、下側の絶縁基板21の表面に前述したアクリル樹脂からなる平坦化層2

10

20

30

40

50

5

4が延長している。この平坦化層24はコンタクトホール開口と同時に所定の形状にバターニングされ、溝形状の凹部28が設けられる。この凹部28を介在させる事により、封止材29の内部侵入を効果的に防止できる。

【0013】図4は、図3に示したアクティピマトリクス型液晶表示パネルの平面形状を模式的に表したものである。前述した様に下側の絶縁基板21には、マトリクス状に垂直電極22が構成されている。これに対応してスイッチング駆動用の薄膜トランジスタ23も集積形成されている。又行方向に沿ってゲートライン30がバターニング形成されているとともに、列方向に沿って信号ライン31もバターニング形成されている。各薄膜トランジスタ23のゲート電極は対応するゲートライン30に接続され、ソース電極は対応する垂直電極22に接続される。絶縁基板21の表面には同じく薄膜トランジスタからなる垂直駆動回路32及び水平駆動回路33も集積形成されている。垂直駆動回路32はゲートライン30を介して行毎に薄膜トランジスタ23を順次選択する。一方、水平駆動回路33は信号ライン31を介して、選択された薄膜トランジスタ23を通じて垂直電極22に信号電号を書き込む。これにより所望の表示動作が行なえる。なお垂直駆動回路32及び水平駆動回路33には引出し電極34が統括されており、外部との導通をとる様にしている。

【0014】この様な構成を有する表示領域を囲む周辺領域に沿って、シール材35が配設されており、下側の絶縁基板21と上側の対向基板25を互いに接合している。シール材35の一部は切り欠かれており注入入口となっている。前述した様に、注入口と表示領域とを区切る様に、溝形状の凹部28が絶縁基板21の表面にバターニング形成されており、封止材29の内部侵入を防止する。

【0015】

【発明の効果】以上説明した様に、本発明によれば、注入口と表示領域の間を横切る様に少なくとも一方の基板に溝形状の凹部を設ける事により、封止材の内部侵入を阻止する事ができるという効果がある。注入口と凹部の基板間隙寸法の相違を利用して表面張力の作用により封止材の内部侵入を防いでいる。長時間放置しても液状の封止材は内部に逆行しないので封止工程における時間管理が不要となり、工程合理化が図れるという効果がある。溝形状の凹部は極めてコンパクトに形成できるので、小型寸法の液晶表示パネルに対応する事が可能であり、外形の小型化によるコストダウンを実現できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明にかかる液晶表示パネルの一実施例を示す模式的な平面図及び断面図である。

【図2】本発明にかかる液晶表示パネルの他の実施例を示す模式的な断面図である。

【図3】図1に示した液晶表示パネルの具体的な構成例を示す断面図である。

【図4】同じく具体的な構成例を示す平面図である。

【図5】従来の液晶表示パネルの一例を示す平面図である。

【符号の説明】

1 基板

2 基板

3 表示領域

4 周辺領域

5 シール材

6 注入口

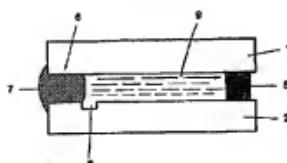
7 封止材

8 凹部

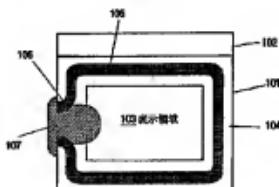
9 液晶

10 絶縁膜

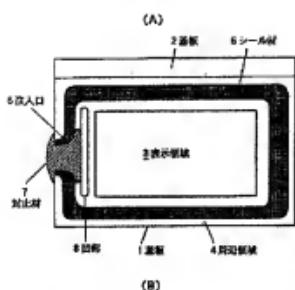
【図2】



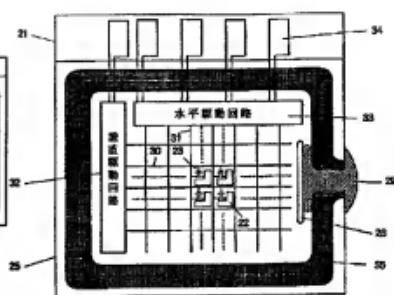
【図5】



【図 1】

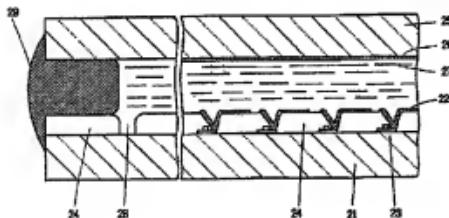
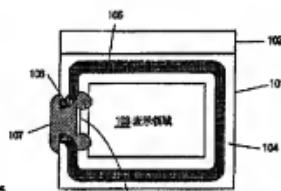


【図 4】



【図 3】

【図 6】



### **Family list**

8 family members for: JP5158015

Derived from 6 applications

**1 Dielectric display device.**  
**Inventor:** AOKI KEIGO (JP); OHNUMA YOSHINAO   **Applicant:** SHARP KK (JP)  
**IPC:** G02F1/1362A                                   **IPC:** G02F1/133; G02F1/13; G02F1/1345 (+5)  
**Publication Info:** DE69224595D D1 - 1998-04-09

**2 Dielectric display device.**  
**Inventor:** AOKI KEIGO (JP); OHNUMA YOSHINAO   **Applicant:** SHARP KK (JP)  
**IPC:** G02F1/1362A                                   **IPC:** G02F1/133; G02F1/13; G02F1/1345 (+5)  
**Publication Info:** DE69224595T T2 - 1998-09-10

**3 Dielectric display device.**  
**Inventor:** AOKI KEIGO (JP); OHNUMA YOSHINAO   **Applicant:** SHARP KK (JP)  
**IPC:** G02F1/1362A                                   **IPC:** G02F1/133; G02F1/13; G02F1/1345 (+5)  
**Publication Info:** EP0545712 A1 - 1993-06-09  
   EP0545712 B1 - 1998-03-04

**4 DIELECTRIC DISPLAY ELEMENT AND ITS MANUFACTURE**  
**Inventor:** AOKI KEIGO; OHNUMA YOSHINAO   **Applicant:** SHARP KK  
**IPC:** G02F1/1362A                                   **IPC:** G02F1/133; G02F1/13; G02F1/1345 (+5)  
**Publication Info:** JP2901028B2 B2 - 1999-06-02  
   JP5158015 A - 1993-06-25

**5 DIELECTRIC DISPLAY DEVICE**  
**Inventor:** AOKI KEIGO (JP); OHNUMA YOSHINAO   **Applicant:** SHARP KK (JP)  
**IPC:** G02F1/1362A                                   **IPC:** G02F1/133; G02F1/13; G02F1/1345 (+5)  
**Publication Info:** KR0124944B B1 - 1997-12-01

**6 Dielectric display device having electrodes protected by a static conductor**  
**Inventor:** AOKI KEIGO (JP); OHNUMA YOSHINAO   **Applicant:** SHARP KK (JP)  
**IPC:** G02F1/1362A                                   **IPC:** G02F1/133; G02F1/13; G02F1/1345 (+5)  
**Publication Info:** US5327267 A - 1994-07-05

Data supplied from the [espn.com](http://espn.com) database - Worldwide